

令和7年度 生徒心得

1 登校時間について

- ・8時15分までに生徒昇降口を通過し、8時20分までに教室に着席し、チャイムで朝の会を行う。

2 届出および許可について

- ・欠席・遅刻・早退・忌引などについては、当日朝に保護者から学校へ連絡をしてもらう。

3 制服について

- ・標準型を使用し、正しく着用すること。変形したものや不自然に加工した物は着用しない。
〈例〉カッターシャツは外に出さず、ベルトが見えるようにズボンの中に入れる。
- ・気温が低い場合は、防寒着を着用することができる。
- ・冬服の下のトレーナー類は目立たないものを使用し、制服から出ないようにする。
〈例〉無地の白、黒、紺、茶、グレーなどで、タートルやパーカー類は着用しない。
- ・手袋、ネックウォーマーは登下校時のみ着用することができる。昇降口で外し、室内ではつけないようにする。(マフラーは不可)
- ・夏用、冬用制服の着用期間については、各自で判断する。

4 頭髪等について

- ・学習の場に適した髪型にする。
〈例〉 ○ ツーブロックにする場合は、眉の高さより低い位置にする・刈り込み部分が見えないようにする・刈り込み部分の長さは5ミリ以上にするなど、一部を目立たせない。
○ 前髪は目にかからないようにし、後ろ髪は肩に触れる場合は後ろで結び、横結びや編み込みなどはしない。
○ お団子結びをする場合は、耳よりも上に出ない場所で結び、正面から見えないようにする。また、きっちりと固く巻き、学校では結び直さないようにする。
- ・ヘアピンやゴムは少ない本数で目立たないものを使用すること。(ヘアゴムは、黒・紺・茶の単色、ヘアピンは、過度に大きいものは避け、黒色で装飾なしのものを使用する。)
- ・ヘアバンドやリボンなどは使用しない。
- ・脱色、染色、パーマや眉そり、眉抜きなど色や形を変えるような加工はしない。

5 シャツについて

- ・アンダーウェアの色は、目立たないものを使用する。

〈例〉白、黒、紺、茶、グレーなどの無地

6 通学靴兼運動靴について

- ・体育の授業で使えるひもつき運動靴(全面白色または黒色)を使用する。(ハイカット不可)

7. 上履きについて

- ・学年色のスリッパを使用し、上から見える場所とかかとの部分に、黒の油性ペンで姓のみを明記する。

8. カバンやサブバッグについて

- ・カバン(背負い式)、サブバッグを使用する。
- ・加工したり、不要な装飾品を付けない。

9. くつ下類について

- ・くるぶしが隠れる長さからスクールソックスと同等の長さまでの白色、黒色、紺色無地の靴下を使用する。デザインはワンポイント(学校オリジナルソックスに準ずる大きさ)までとする。
- ・タイツは、黒・紺を使用する。(レースや飾りのあるものは使用しない。)

10. その他について

- ・学校生活に関係のない物(物品及び飲食物等)は持ってこない。
- ・名札は学年色とし、左胸に付ける。
- ・整髪料や化粧品類は使用しない。
- ・ベルトは黒の単色無地のものを使用する。
(幅が極端に広いものや細いもの、メッシュや金属類の飾りを含むもの、ベルト穴が複数列のもの、バックルの形や大きさが極端なものなどは不可)
- ・ピアス、ミサンガなどはしない。
- ・日焼け止めクリームは、周りの人や授業に迷惑がかからないように使用してもよい。ただし、個人で責任を持って管理する。
- ・個別に対応することもあるので、何かあれば相談をする。

(波線) は令和6年度生徒心得検討委員会にて変更した内容

《令和6年度生徒心得検討委員会実行委員による提案理由》

- ① ツーブロックにする場合、長さの規定がないことで、刈り込んだ部分が極端に目立ち、適さない髪型に見えてしまう場合がある。また、散髪の際、感覚で伝えるよりも明確にオーダーできる。
5ミリ以上の設定理由は、インターネット等で調べた結果、5ミリ未満は目立ちすぎるという記載が多く、学級討議、検討委員会討議においても適切という意見が多かったため。
- ② これまで制服が濡れないように水泳後のみ認められていたお団子の髪型が、インターネットで調べた結果きっちりと固く結んだお団子は就職試験等の面接に適切であるということと、生徒からの要望が多かったことから提案した。しかし、結び方に気を付けないといけないことも分かったので、結び方のルールも考えた。



西山中オリジナルソックス
マークサイズ 縦3cm×横2cm